

175<sup>th</sup>

定期演奏会



© Hikaru Hoshi



© Masato Okazaki

指揮 / 角田鋼亮(当回常任指揮者) ユーフォニアム / 小寺香奈

2020.5/22(金) 18:45開演 (18:00開場) 2/20[木]  
発売

- ラモー：歌劇「優雅なインドの国々」より抜粋
- 山本裕之：ディクトウム・ファクトウム  
～ユーフォニアムとオーケストラのための(委嘱作品)
- ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調「運命」Op.67

176<sup>th</sup>

定期演奏会



指揮 / マーク・マスト



© Ari Ueda

ヴァイオリン / 中村太地

2020.6/26(金) 18:45開演 (18:00開場) 3/12[木]  
発売

- ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op.77
- シューベルト：交響曲第9番ハ長調「ザ・グレート」D.944

CENTRAL  
AICHI SYMPHONY  
ORCHESTRA

# セントラル愛知交響楽団 定期演奏会

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15  
(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定

※未就学児入場不可

A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円  
学生席1,000円 (学生席は座席指定不可・指定時は一般価格の半額)  
セントラル愛知交響楽団事務局のみの取扱い

チケット取扱い

- セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有)
  - しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117
  - 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
  - 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999
- [5/22(Pコード167-556) 6/26(Pコード167-561)]

プレイベント

入場無料・先着200名

■第175回 定期演奏会プレイベント  
5/20(水) 10:30~11:20 公開講座 12:00~13:00 公開リハーサル  
会場 / 名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111

■第176回 定期演奏会プレイベント  
6/23(火) 12:00~13:00 公開リハーサル  
会場 / 半田市福祉文化会館(雁宿ホール)  
お問い合わせ : 半田市教育委員会生涯学習課 ☎0569-23-7341  
6/24(水) 10:30~11:20 公開講座 12:00~13:00 公開リハーサル  
会場 / 名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111

お問い合わせ  
チケットの  
お申し込み

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからもお申し込み頂けます。



主催 / 一般社団法人セントラル愛知交響楽団  
共催 / 中日新聞社  
後援 / 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM◎AICHI  
協賛 / 三井住友海上しらかわホール・名古屋市美術館

※やむを得ない事情で出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。



## [指揮] 角田 鋼亮

Kosuke Tsunoda/Conductor

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第3回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。

これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、九州交響楽団等と共演している。

2015年4月より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕筰作品)の指揮が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2016年4月より大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者に就任。2018年1月には、大阪フィルハーモニー交響楽団第514回定期演奏会に登壇(マーラー:交響曲第1番「巨人」)、若さ溢れるエネルギッシュな指揮ぶりで好評を博した。2018年4月より、新たに仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者に就任し、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。2019年4月からセントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。

公式ホームページ: <http://kosuketsunoda.com>

## [ユーフォニアム] 小寺 香奈

Kana Kotera/Euphonium

東京芸術大学卒業、及び同大学大学院修了。ヤマハ新人演奏会出演。埼玉県警察音楽隊ユーフォニアム奏者を経て、現在はソロのほか、国内主要オーケストラや吹奏楽団のエキストラ、室内楽など多方面で活動している。月刊誌「バンドジャーナル」のワンポイント・レッスンを執筆(2009年度)。ユーフォニアムを稲川榮一、外園祥一郎、三宅孝典の各氏に師事。

近年は現代音楽の分野でも積極的に活動を展開しており、国内外の作曲家とのコラボレーションを通して、ユーフォニアムの新しいレパートリーの開発に力を注いでいる。これまでに、日本、ドイツ、ニュージーランド、アメリカなどで新作初演を含む現代音楽作品の演奏やレクチャーを行った。

2013年度海外派遣によりケルンに留学。アンサンブル・ムジーク・ファブリック、ケルン音楽大学現代音楽研究所で研鑽を積む。留学中、メルヴィン・プーア(Ensemble Musikfabrik テューバ奏者)、クリスティン・チャップマン(Ensemble Musikfabrik ホルン奏者)、ミハエル・ユングハンス(ケルンWDR放送交響楽団 バストロンボーン奏者)の各氏に師事。

2016年にはユーフォニアムとして初となる、全曲現代音楽作品によるCD「ディスカヴァリー・ユーフォニアム」をリリース。レコード芸術誌「準特選盤」、音楽現代誌「推薦盤」などに選ばれた。和歌山大学准教授。

## [指揮] マーク・マスト

Mark Mast/Conductor

1963年ドイツ・シュヴァルツヴァルト(黒い森)の街フロイデンシュタットに生まれハイデルベルク等で音楽を学ぶ。セルジュ・チェリビダッケのもとで1987年から1992年まで学んだ経験が指揮者としての成長に決定的な影響を及ぼした。

1994年バイエルンフィルハーモニー管弦楽団を設立し芸術監督に就任。合わせて100名編成の同フィル合唱団を設立。常設の合唱団を擁する強みを生かし、バッハのクリスマスオラトリオや短調ミサ曲、ベートーヴェンの「第9」、バイエルンゆかりのオルフの「カルミナ・ブラーナ」を始め、バロックから近現代の大作や小編成でのアウトリーチなど幅広いレパートリーを演奏している。2008年にはバイエルンの作曲家の作品紹介によって「ドナウヴェルト・ヴェルナー・エック賞」を受賞。2018年にはセントラル愛知交響楽団に客演しブルックナー「ロマンティック」交響曲を演奏、チェリビダッケを彷彿とさせる響きが甦り絶賛された。2019年バイエルンフィルハーモニーの創立25周年を記念してヨーロッパ及びコロラドにおいて演奏ツアーを行った。

これまでにヨーロッパ各国のオーケストラに客演するとともに「シュヴァルツヴァルト音楽祭」、「セルジュ・チェリビダッケ・フェスティバル」などを開催、コンスタンティン・ヴェッカー(ドイツを代表するシンガー・ソングライター)とともにヨーロッパ26カ所で開催を行うなど多彩な活動を行っている。

## [ヴァイオリン] 中村 太地

Daichi Nakamura/Violin

福岡県北九州市出身。福岡県立小倉高等学校卒業後、ウィーン国立音楽大学にてミハエル・フリッツェンシュラガー氏に師事。2017年ブラームス国際コンクールにて日本人初の優勝を飾る。若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール(最年少ファイナリスト)、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど数多くの権威ある国際コンクールにて入賞や特別賞を受賞する。モスクワやウィーンの流派を汲み、エリザベト王妃記念シヤベル音楽院にてオーギュスタン・デュメイ氏に師事した。九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラークンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラと共演、クフモ室内音楽祭(フィンランド)に招かれる等、ヨーロッパと日本を中心に活動中。2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。2018年より株式会社スターフライヤーと音楽家としては初となるスポンサー契約を結んでいる。

2019年7月にはビクターエンタテインメントよりデビューアルバム「オールブラームス全集」をリリース。9月よりサントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとする大ホールツアーを開催し、大成功を収めた。

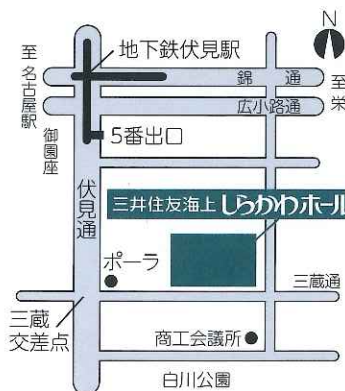
使用楽器は1738年製ゲルネリ・デルジェス"ソフィー・ハース"を北山コーポレーション・北山英樹氏より貸与される。

## セントラル愛知交響楽団

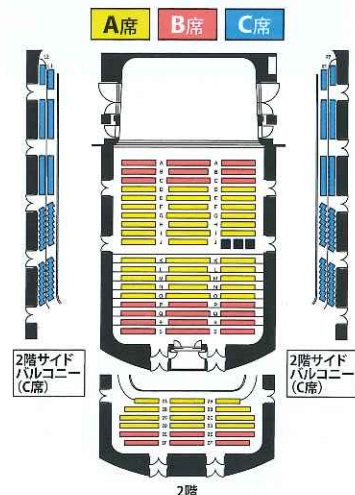
Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名の後、2009年4月一般社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

## 会場アクセス



## 客席のご案内



※駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。